

ホームステイする学生は成績がいい！ ホームステイをすると成績が上がる？

鹿浦 佳子

要旨

ホームステイをすることは、その国の文化、考え方、習慣、行事を知るのに役立ち、ホストファミリーとその言語を使用する機会が増すため言語の学習にも役立つと一般的に言われており、外大ではホームステイプログラムを勧めているが、実際、どのくらいの言語学習効果があるのか客観的な評価が発表されていないのが現実である。鹿浦（2007）では留学生・ホストファミリーのアンケートの評価から、かつ日本語教員のコメントから、ホームステイの留学生は日本語学習の上達に満足し、ホストファミリーも日本語学習を支援し、教員も会話能力・自然な発音・応用力においてホームステイの留学生の優位性を確認したと報告した。今回、過去6学期間における留学生の住居の種類と学期の終わりの成績を照合して関係性を立証した。

その結果、もともと成績がよく、かつ、動機付けもある留学生がホームステイをしてさらに成績がよくなる場合もあるが、寮やアパートで暮らす留学生より、ホームステイの留学生の方が常にいい成績をとっていることがわかった。このことからホームステイをした留学生の日本語学習効果が上がっていると言える。また、ハウジングにおけるホームステイの利点、ホストファミリーと留学生の意識の違い、特にホストファミリーが問題だと感じていても、留学生は何の問題もないと感じ満足している場合、ホストファミリーの方にのみストレスが残るケースなどを紹介し、問題解決法をさぐった。

【キーワード】 ホームステイ、留学生、ホストファミリー、住居の種類、成績、日本語の上達、日本語学習効果、日本語学習支援

1. はじめに

関西外国語大学の留学生はホームステイ、大学の留学生用寮、オフキャンパスのアパートや外国人ハウス等に住み、日本語を勉強している。関西外国語大学は交換留学が始まった1972年以来36年間、ホームステイプログラムを続けており、留学生が日本語を学習し、日本の生活・文化を知る上での支援の一端を担ってきたと自負している。ホームステイの家族の方々の協力もあり、ホームステイから学生は関西弁、クラスでは習わない語彙・表現などを聞き、日本語習得にいい影響を受けている。今回も留学生、ホストファミリーにアンケートを行い、ホストファミリーから受ける留学生の日本語学習への影響や、留学生、ホストファミリーの抱える問題点を調べた。また、教務課の協力を得て、過去3年間の留学生の成績とハウジングの関係を調査考察した。その結果、ホームステイをした留学生の成績は寮やアパートに住む留学生よりよいことが数字の上でも明らかになった。

2. 教務課のアンケート

教務課が08年春学期にホームステイした留学生とそのホストファミリーに、ホームステイプログラムについてのアンケートを行い、その評価をまとめているので次にあげておく。ホストファミリー99家族中、82家族から、またホームステイをした留学生のうち45人から回答を得た。

2.1 留学生のアンケート

2.1.1 家族との人間関係に関して

良かったこと

- ・文化や価値観の違いを学ぶことが出来てとても貴重な体験が出来た。
- ・歴史や政治など幅広いトピックの会話をすることが出来た。
- ・日本では不適切とされる行動を自分が誤ってしてしまったときに、同じことを繰り返さないように教えてくれてとてもありがたかった。
- ・自分と同年代の子供がいたので、とても話しやすかった。
- ・自分に弟がいなかったので、ホストファミリーの弟と過ごすのがとても楽しかった。
- ・ホストファミリーの子供が日本の音楽や俗語や学校生活などについて教えてくれた。
- ・家族の一員として受け入れてもらえたのがすごく嬉しかった。

- ・家族と行った旅行が楽しく良い思い出となった。
- ・お母さんと料理などを通して交流が持てた。家に帰ってきて一日の出来事を報告するのが楽しみくらい良い関係を築けた。
- ・家族のおかげでホームシックにならずに過ごすことができた。
- ・友達との時間も家族との時間もバランスよく過ごせ、日本の生活を満喫できた。
- ・日本で帰ってくる場所が出来た。

残念だったこと

- ・自分がホストファミリーにとって重荷になっているのでは、と感ずることがあった。
- ・小さな子供のように扱われたので一人の大人として接してほしかった。
- ・子供と遊ぶためではなく、勉強をしに日本に来ているということをもっと理解してほしかった。勉強をしすぎだとホストのお母さんに言われた。
- ・ホストの両親とは仲良くなれたが、子供とはあまり会話をすることがなかったので残念だった。
- ・数日前にあらかじめ帰りが遅くなることを伝えておいたにもかかわらず、鍵がかかっていて家に入れないことがあった。
- ・家族というよりお客のように扱われ、リラックス出来なかった。
- ・今までに何人も留学生を受け入れたことがある家族だったので、家に留学生がいるということを特別だと思わず、自分に無関心だったことが残念である。
- ・ホストファミリーがほとんど家に帰ってこなくて、とても寂しかった。
- ・もっと家事を手伝ったりして、積極的に家族と関わりたかった。

2.1.2 **家族との意思疎通に関して**

良かったこと

- ・私の質問にいつも丁寧に答えてくれた。
- ・ホストファミリーが英語を話せたので、日本語が分からない時にとっても役立った。
- ・ホストファミリーとの会話を通して日本語がすごく上達した。
- ・私のつたない日本語を辛抱強く聞いてくれて、間違っていたら注意してくれた。
- ・大阪弁は最初難しかったけれど、面白かった。

残念だったこと

- ・最初、私の日本語のレベルはかなり低かったなので、家族の感情を読んだり、ボディランゲージで伝えたりしていたので、慣れるまで意思疎通はとても大変だった。

- ・家族が常に英語で会話したため、私はあまり日本語を勉強することが出来なかった。
- ・日本の生活も学びたかったが、日本語の上達も目標にしていたので残念だった。
- ・家族とあまり積極的に会話をしたくないように感じた。色々質問してもあまり返事をしてくれなかった。

2.1.3 **食事に関して**

良かったこと

- ・仕事がとても忙しいにもかかわらず、毎日手の込んだ晩御飯を用意してくれありがたかった。
- ・毎日決まった時間に十分な量の食事を用意してくれありがたかった。
- ・お母さんは私がいろいろな日本料理を食べる経験ができるように、とても多くの種類の日本料理を作ってくれた。
- ・私の帰宅が遅くなる時も食事を残しておいてくれた。
- ・料理を教えてくれた。自分の国に帰国したら家族に作ってあげようと思う。
- ・お母さんの料理は本当に美味しかった。
- ・私の好き嫌いを本当によく理解してくれた。
- ・ホストファミリーが栄養バランスのとれた食事を作ってくれたので健康に過ごすことができた。

残念だったこと

- ・正直日本の食事は口に合わなかったが、口に合わないと正直に言えなかった。
- ・食事の時間までに家に帰らなければならないというプレッシャーを感じるがあった。
- ・家族は朝早く仕事に出かけるので、朝食を一緒にとることが出来ず残念だった。
- ・夕食の時間が早くて寝る前にお腹が空くことがあった。家の中に食べるものもなく、外に買いにも出かけづらかったので辛かった。
- ・アレルギーを好き嫌いとして理解されて悲しかった。

2.1.4 **生活習慣に関して（生活様式、門限など）**

良かったこと

- ・私のスケジュールにとっても柔軟に対応してくれ、リラックス出来た。
- ・毎日お風呂のお湯に浸かったり、温泉に行ってリラックスすることが、とても楽し

かった。

- ・何か自分のスケジュールに変更が生じた場合は、携帯電話でまめに家族に連絡していたので何も問題はなかった。
- ・予定が出来る度に行く場所や帰宅の時間などを連絡したので、家族も安心していたようだ。

残念だったこと

- ・門限のために友達と遊ぶ時間が限られた。
- ・夕食後、家族はただテレビを見るだけで会話がなかったので残念だった。
- ・スケジュールが少し厳しかったので、もう少し自由に行動したかった。
- ・家の中にいつも埃がたまっていたり、不衛生だった。
- ・家族がとにかく忙しく、家族というよりも部屋を借りているだけのようだった。
- ・ホストファミリーから鍵を渡してもらえなかったので、ホストファミリーの誰かが帰宅するまで家に帰ることができず、早く授業が終わっても遅くまで学校に残ってなくてはならなかった。
- ・自分の部屋に暖房器具がなく、冬はとても寒かった。

2.1.5 **英会話の練習に関して**

良かったこと

- ・ホストファミリーの子供の英語の宿題を手伝ってあげた。
- ・日本語と英語を両方使いながら会話をした。
- ・一週間に一回“English Night”という日を決めてホストファミリーと英語で会話するようにした。

残念だったこと

- ・ホームステイを始める前は英語を教えるように言われていたが、結局全く英会話をする機会がなかった。
- ・英語を勉強したいホストマザーと英語で話すと、それを理解出来ないホストファミリーや子供が不機嫌になるため、英会話をするをやめてしまった。

2.1.6 **その他のコメント**

- ・大学の日本人の友達が言っていたジョークの意味が分からなかったので、ホストマザーに質問したら怒られて、とても戸惑った。

- ・週末や午後の授業の日も朝早起きをして朝ご飯を家族と一緒に食べるべきなのか困った。
- ・ホストファミリーにある宗教を強く勧められ、とても辛かった。
- ・何年にも亘ってホームステイを経験しているからとって、学生を扱うことが上手であるとは限らないと思った。
- ・電車の時刻表の読み方を教えてほしかった。
- ・ペットに関する問題・病院に関することを説明してほしかった。
- ・ホストファミリーは自分に対して全く関心がなく、ビジネスとしてホストファミリーをやっているように感じられた。
- ・家族が私のために着物を着せてくれたり、ディナーに連れて行ってってくれてうれしかった。
- ・この家族と出会えて私は本当に幸せだった。
- ・短期間でこんなに仲良くなれるとは思わなかった。一生大切にしたい関係を築くことが出来た。

2.2 **ホストファミリーのコメント**

2.2.1 **ホームステイ全般を通じて**

良かったこと

- ・漫画や音楽のことで娘と特に気があっていた。
- ・初めは感謝の言葉をあまり伝えてくれなかったが、学校で「ありがとう」の使い方を学んで以来、ありがとうと言ってくれるようになってとてもうれしかった。
- ・国際電話/スカイプで留学生の家族ともコミュニケーションがとれ、良い関係を築けた。
- ・嵐山でのお花見が好評だった。
- ・留学生のおかげで、家の中がにぎやかになった。家庭に笑いが絶えなかった。
- ・家族でBBQなどの計画をたて、決行した。
- ・英語でメールをする時に直してくれた。
- ・本当の家族のように接した結果、「雨降って地固まる」で良い関係が築けた。
- ・人の気持ち、日本人の考えをよく理解していたし、しようとしていた。
- ・近所の人達と、英会話と日本語のサークル活動を始めた。
- ・日本語、英語を理解しようと互いに努力しあえた。

- ・友達が多くて話が豊富だった。
- ・一緒に温泉旅行、お茶会、音楽会、ジャズストリートに行けてよかった。
- ・男子は女子と違って帰りの心配がいらなかった。
- ・趣味があうので、色々な話題で話があった。
- ・学生の母親からお礼のカードを頂いた。
- ・留学生が帰るとき、涙を流してくれた。
- ・普段接しない人と接することで、新たな人間交流のスキルが身についた。
- ・着物が好きな子だったので、卒業式の日、着付けを教えて着て行った。
- ・外国人でも日本のマナーを良く知っていて、さわやかさを教えてくれた。
- ・本国や母語について、色々教えてもらった。
- ・上手に子供と英語で接してくれ、面倒をみてくれた。
- ・留学生のご家族が来日され、交流ができ、家族で仲良くなれた。
- ・恥ずかしがりの度が過ぎると意思疎通ができないので、明るい子に育てる事の大切さを実感した。
- ・子供に囲碁やルービックキューブを教えてくれた。
- ・子供が居ないので、親の経験ができた。
- ・子育てを終えた私たちに若者と生活する楽しさを与えてくれた。
- ・一緒にキャンプや旅行に行き、家族としての付き合いができた。
- ・留学生のおかげで、友達が多く集まった。
- ・家族だけなら行かないところも、留学生に見せてあげたくていろいろ出かけたのが楽しかった。
- ・剣道を通じて、地元の人達との交流があった。
- ・近くの小学校で文化の違いなどについて話してくれた。
- ・フランス式の「おやすみ」のキスやハグを毎日すると、暖かい気持ちになった。
- ・留学生の日本語がとても上手になった。

残念だったこと

- ・「手を洗ってらっしゃい。」と何度言ってもできなかった。
- ・日本に興味がないのに留学していた。
- ・出かける前の忙しい時に、写真のモデルや宿題の相手を頼まれた。
- ・以前のホームステイ先の悪口を聞かされた。
- ・常識的なことができていない。

- ・朝起きるのが遅く、朝ごはんが無駄になった。
- ・留学生が病気になり入院した。
- ・ありがとう、ごめんなさいが言えない場面が多く驚いた。
- ・土足で廊下を歩いた時が2回程あるのに、注意すると平気で嘘をついたので信用しにくくなった。
- ・自分の話題は楽しそうに話す、こちらの話だとそっけなく、病気の時もあまり気遣いがなかった。
- ・オリエンテーション時のルールが守られていなかった。
- ・家族について語らないので、聞くのも失礼かと思い控えたが、家族が見えなくてとまどった。
- ・夜型だったので、夜中にシャワーを浴びることがあった。
- ・家族よりも自分のしたいことが、最優先だった。
- ・外出が頻繁で家族との交流の時間が少なかった。
- ・思春期の子供たちが言葉への壁があり、もう一步踏み込んだ関係を築けてなかった。
- ・日本の文化、行事に興味なし。(アニメオタクのため、ずっとネットでアニメを見ていた。)
- ・留学生のために計画していたが、外出先から帰って来ず、一緒に出かけられなかった。
- ・時々メキシコ時間で行動し、初めの取り決めの時の時間を守らなかった。
- ・バスや電車といった交通機関を面倒くさがり、家族が車で送迎したことが多々あった。
- ・深夜もずっとリビングにいたので、家族一人一人のプライベートな時間がなかった。
- ・土日は、朝から晩までパソコンをしていて、話はほとんどしていない。
- ・すでにホームステイをし、自分は日本を知っていると勘違いの発言が多かった。
- ・漫画やゲームにはお金を使うのにそれ以外には使いたがらない。(交通費や入場料等)

2.2.2 留学生との意思疎通に関して

良かったこと

- ・趣味・感性が合い、意思疎通がうまく計れた。
- ・よくコミュニケーションをとるので子供とは喧嘩する程で、兄弟のように仲良くな

ってくれた。

- ・毎日話す時間を作ったので、コミュニケーションが上手くとれた。
- ・娘には英語でしか話そうとせず、親には頑張って日本語で話そうと努めてくれた。
- ・元々口数が少ないが、日本語で話そうと積極的だった。
- ・ネットの通訳サイトや、ジェスチャーや絵などを会話に利用した。

残念だったこと

- ・お礼の言い方が不十分に感じた。
- ・伝わっているか分からない時があり、返事が適当だった。
- ・会話しようと言う意欲、日本語を使う気が感じられなかった。
- ・こちらのアドバイスをあまり聞かなくて、途中で言うのを諦めた。
- ・今週か来週かなどの誤解があった。
- ・打ち解けるのに少し時間がかかった。
- ・英語をゆっくりなら話しても良いと言っていたが、日本語を使おうとし、途中で諦めた。

2.2.3 留学生の生活態度に関して

良かったこと

- ・来日前から日本についての勉強が十分で、行動的だった。
- ・外出が好きで部屋にこもることがなかったので、こちらも気が楽だった。
- ・門限をいつも守ってくれたし、遅くなる時は連絡をくれたので心配なく待たされた。
- ・礼儀正しかった。挨拶ができた。
- ・計画性を持ち、約束と時間を守ってくれた。
- ・真面目で授業内容等の問いかけにも細かく対応してくれた。
- ・家族に溶け込もうと一生懸命なのが実感できた。
- ・帰宅時間をうちの事情に合わせて、8時ごろにしてくれた。
- ・時間厳守だった。

残念だったこと

- ・部屋からあまり出てこようとしなかった。
- ・英語を話す妻とばかり話して、他の家族とは話そうとしなかった。
- ・誰もいない部屋に一人で立っていたり、大声で独り言を言ったりして気持ち悪かった。

- ・何度言っても電気のつけっぱなしが直らなかった。
- ・夜型の生活で、一晩中電気がついてた。
- ・途中から穂谷に移ることになり、少し通学に難があった。
- ・濡れたリュックをそのまま畳の上へ置いたままにしたので、畳がかびた。
- ・黙って何でも（傘や毛布など）借りていくこと。
- ・30分以上のシャワーの出っぱなしが多かった。
- ・朝のシャワーは暑い時期だけにしてほしかった。
- ・トイレの使い方が非常に汚かった。床は水浸し。便座カバーに便をつけるなど。
- ・借りたものをすぐに返さない。
- ・パンツ一枚で家中ウロウロされたこと。特に娘の前ではやめてほしかった。
- ・深夜・早朝帰宅に困った。
- ・ベッドの上で、飲食されたので布団が汚れた。
- ・一時間ぐらいの長風呂なので、困った。
- ・門限が守られず、連絡も遅い。
- ・行儀が悪かった。（足元にあるものを足で動かすなど）
- ・日本語の使い方が分からなくて失礼な感じがした。
- ・クーラーを早い時期からつけ、冬は半袖を着て暖房をつけていた。
- ・外出に誘っても断わり、アニメを見ていた。何のために日本に来ているのか分からない。
- ・男の子でも積極的に家事を手伝ってほしかった。
- ・積極的に色んな事にチャレンジして欲しかった。
- ・朝が起きられない。
- ・朝方の帰宅なのに、大きい音を立てて、とても近所迷惑だった。
- ・スケジュールやご飯の有無がいつも自己中心的だった。

2.2.4 留学生の生活一般に関して

a) 掃除・洗濯

良かったこと

- ・自分の都合のいい時間に自分で洗濯をしたいと申し出てきた。
- ・毎日ベッドメイキングができていた。
- ・こちらがしやすいようにルールを守ってくれた。

残念だったこと

- ・ごみの分別を説明したが、出来ていなかった。
- ・掃除をするように頼んだのにしなかった。
- ・週1回の洗濯のはずが月1回しかしなかった。
- ・洗濯の順番を守らない。
- ・掃除、片付けをしなかった。
- ・洗濯物を外に干さず、乾燥機で乾かしていた。
- ・洗濯を自分でしてしまったので、干す場所に気を使った。
- ・一度臭いものを一緒に洗濯してしまい、大変だった。
- ・洗濯を毎日しているのに、一度に出す。
- ・洗面台に髪を流したり、洗濯物を丸めたままとか裏返しで出したりされた。

b) 食事

良かったこと

- ・持参のサプリメントの必要性がなくなり、栄養が十分取れたことを感謝してくれた。
- ・好き嫌いの偏りがあったが、積極的に挑戦し、食べられるようになったものがあって嬉しかった。
- ・手作りの赤飯を喜んで食べてくれた。
- ・2, 3日まとめてスケジュールを聞いたりして、ご飯の有無確認ができた。変更は早めの連絡があり助かった。
- ・すべて経験といって、何でも挑戦してくれた。
- ・好き嫌いをちゃんと伝えてくれたのでやりやすかった。
- ・いつも完食で、感謝の言葉ももらった。
- ・材料を探すのに苦労しながらも、タコスを作ってくれた。
- ・日本食を教えてあげたら喜んでいた。

残念だったこと

- ・食事中に勉強したりゲームをするのはやめるように何度も注意した。
- ・偏食で困った。(豆腐、魚介類、練り製品、マヨネーズ、ケチャップ)
- ・ご飯粒を最後までちゃんと食べない。
- ・食事の間食が多く、ご飯が食べてもらえなかった。
- ・魚が嫌いだということが後になって分かり、大変だった。
- ・好き嫌いが多く、料理のレパートリーが減った。

- ・ご飯だけをいつも最後にふりかけをかけて食べ、馴染みにくく、時間もかかっていた。
- ・朝食を作っているのに、シリアルを食べたいと言われた。
- ・食べる物が肉とサラダのみで、家族とは別メニューになった。
- ・食事の時間を守らなかった。
- ・食べられないものをこっそり捨てていた。言ってほしかった。
- ・家で食事する為、友達の誘いを断ったと言ったので友人付き合いも大事と言ったとたん外食が増えた。
- ・偏食が激しく子供に悪影響だった。
- ・深夜にお腹がすいたという学生に対してどうしたらいいのか分からなかった。

c) 電話・パソコン

良かったこと

- ・毎回必ず使用してもいいか尋ねてきた。
- ・パソコンの使い方を教えてくれた。
- ・携帯電話を持っていたので、自宅の電話を使うこともなく、連絡がとりやすく安心できた。

残念だったこと

- ・家族がいても何も聞かず当たり前のようにパソコンを使い、椅子も片付けない。
- ・電源が入りっぱなしなのが気になった。
- ・迷惑メールが増えた。
- ・勝手にインストールされたデータが入り、ウイルスが心配だった。
- ・休みの日に、7～8時間使用していた。注意をしても、やめなかった。
- ・夜2時間程スカイプをしていて、ほかの家族が使えなかった。
- ・スカイプを居間で使うので、こちらがテレビのボリュームを下げるなど気を遣った。
- ・連絡がとれないと困ったときがあったので、留学生にはなるべく携帯電話をもってほしかった。
- ・パソコンはメールのみの約束だったはずが、レポートや宿題によく使っていた。

d) 友人の招待

良かったこと

- ・日本人の友人を連れてくると嬉しかった。
- ・事前に許可をとってくれ、さらににぎやかで楽しかった。
- ・誕生日パーティーなど何回か数人を呼んで楽しく過ごした。

- ・近所にホームステイしている留学生と合同で2回ホームパーティーをして交流ができた。
- ・私たちの友人とも打ち解けて遊んでくれた。

残念だったこと

- ・許可は取ったが、ご飯を食べさせて欲しいと言われた。
- ・2回無断で宿泊させていた。歯ブラシや布団も勝手に使われた。
- ・友人が鍵をなくし、急遽泊めてあげたのに、お礼も言わずこっそり帰っていった。
- ・突然友達を5人連れてきた。その日は家族の方でも10人以上のお客がいたので、とても困った。

2.2.5 **留学生の学習態度について**

良かったこと

- ・当初は70%程度しか日本語で話せなかったのに、最後には90%使えるようになっていた。
- ・しすぎという程よく勉強していた。
- ・やるべき事はやり、遊ぶときは遊ぶ、子供のいい手本になりました。

残念だったこと

- ・普段遊ぶことが多く、勉強の時間や家族との時間が少なかった。

2.2.6 **英会話の練習に関して**

良かったこと

- ・英語を言い直してくれたり新しい単語を教えてくれたりした。
- ・文法は全く出来ていない英語でも会話が出来たので少し自信がついた。
- ・よく子供の勉強を見てくれた。質問に答えてくれて助かった。
- ・日本語では理解できないとき、英語だったので、こちらの英語力が上がった。
- ・手遊びやゲーム等で英語を教えてくれた。
- ・留学生の方が意欲的に英語を教えようとした。
- ・時々スペイン語の練習もできた。

残念だったこと

- ・週二回は英語で話したかったのに、初めの2、3週間で終わった。
- ・最初をお願いしていたレッスンが一度もなく、日本語で会話していた。

- ・コミュニケーションが少なかった。

2.2.7 **その他のコメント**

- ・人なつこく、気遣いのできる子で、色んな国、人種について話し、理解が深まった。
- ・大学から届いた資料にはいいことばかり書いてあったが、実際には偏食があったりした。
- ・外大の日本語の授業を見学してみたい。
- ・定期券紛失などもその都度連絡してほしい。
- ・自分はお金を貯めたいからと言って、どこかへ一緒に言っても自分からお金を払おうとしなかった。
- ・キャンデーを好んで食べていたが、我が家はキャンデーを食べる習慣がないので買い物の際に買うかどうか迷った。
- ・2月～5月のホームステイなのに冬服を一枚も持ってなく心配した。
- ・帰りの荷造りに時間がかかり、もっと余裕が欲しかった。
- ・こちらがちゃんとルールを作り、駄目なことはダメと言える強さを持たなければと思った。
- ・自分は独立していると言って、素直に頼ってくれなく、遠慮や間違った気遣いに疲れた。
- ・最近何を考えているのか分からない学生が増えている気がする。
- ・ホストファミリーの会合（PTA）みたいなものがあればいいと思う。
- ・遠慮がちな学生の家族背景が見えない場合、どの程度まで聞いても失礼がないのか教えてほしい。
- ・支給されたホームステイ費では全てを賄えなかったのもう少し考慮してほしい。
- ・日本の電気・ガス・灯油代は高いということを教えておいて欲しい。

2.3 ホームステイの総合評価

アンケートの中で、ホームステイプログラムの満足度に関する質問に関しては次のような結果となった。

ホストファミリーからの回答

大変有意義であった

35.4%

有意義であった	48.8%
あまり有意義ではなかった	8.5%
どちらかというと問題の方が多かった	7.3%

留学生からの回答

Excellent	71%
Good	15%
Fair	6.7%
Poor	2.2%

ホストファミリーの回答の「大変有意義であった」と「有意義であった」とを合計すると 84.2%が満足していると答えていて、留学生の回答も「excellent」と「good」を合計すると同じ位の 86%が「満足している」と回答していて、両者の意見がほぼ一致する。但し、ホストファミリーの「大変有意義であった」という回答が 35.4%であるのに対し、留学生の「excellent」と答えた割合は 71%と非常に高く、ホストファミリーより留学生の満足度は高く評価もよい。その理由として今回のホームステイが初めてだという留学生が多く、比較する対象がないのに対して、長年にわたり何人もの留学生を受け入れているホストファミリーは多く、過去の留学生と比べてホームステイの評価が厳しくなっているようだ (Helaine K. Minkus, 2006)。今回が初めてというホストファミリーは 2 家族だけで、残りは複数人の留学生を受け入れ、長い場合だと 20 人、30 人と受け入れて下さっているホストファミリーも少なくなかった。

2.4 留学生とその留学生が滞在したホストファミリーの評価を個別に見ると次のような結果となる。

ホストファミリーの評価	V.S.	留学生の評価	
A.両方ともいい評価を持っている場合			
大変有意義であった	V.S.	Excellent	14 組
大変有意義であった	V.S.	Good	2 組
有意義であった	V.S.	Excellent	6 組
有意義であった	V.S.	Good	4 組
B.ホームステイでは問題を感じ、留学生は満足している場合			
どちらかというと問題の方が多かった	V.S.	Excellent	2 組

あまり有意義ではなかった	V.S. Excellent	1組
どちらかという問題の方が多かった	V.S. Good	1組

C.ホームステイは満足、留学生は不満をもっている場合

大変有意義であった	V.S. Fair	4組※
-----------	-----------	-----

D.双方とも問題だと思っていた

どちらかという問題の方が多かった	V.S. Poor	1組
あまり有意義ではなかった	V.S. poor	1組
あまり有意義ではなかった	V.S. Fair	1組
あまり有意義ではなかった	V.S. Poor	1組※

A の場合は家族も留学生も両者共満足しておりホームステイプログラムが成功に終わったという場合である。回答者家族の 32%、回答留学生の 58%にあたる。問題は B の場合である。回答家族のうち約 5%の家族は留学生に不満を抱えていたが、留学生の方はそれに気づかず満足しており、何の行動も起こさない場合である。留学生に出て行ってくれとは言いにくいので、ホストファミリーがストレスを抱えたまま学期を終えると不満のみ残ることになる。この留学生の日本語レベルを見ると中・上級の 4, 6 と初級の 1, 2 に分かれている。上級の留学生自身はホストファミリーとのコミュニケーションには何の問題もないと答えているが、そのホストファミリーは挨拶、お礼の言葉が欠けていたことが不満の理由としている。日本語能力の高いほど、ホストファミリーが期待する日本語が話されない場合、間違いの許容範囲が狭くなり間違いに対しても厳しくなり、留学生に対し失礼だと感じやすくなるため、留学生も家族も注意が必要である。上級の留学生は敬語位話せるはずだというホストファミリーの期待があることを意識すべきだ。また、ホストファミリーは、家族の一員となった留学生は親愛の意味で敬語を過度に避ける傾向にあることを認識してもらいたい。初級の留学生の場合、英語を話す人がいたので、コミュニケーションの問題もなく英語で深い会話ができ、自分が家族の英語が上達した手伝いが出来たと満足している一方、そのホストファミリーからは、英語を話すお母さんとのみ会話をして、他の家族との交流がなく、テストの勉強だけに集中した内向的な留学生と話す時間がなく寂しかったことを不満の理由としている。C は留学生のみ不満をもっている場合で、回答留学生

の約 9%にあたる。理由としては、長年何人もの留学生のホストファミリーを続けている家族の中には情性で留学生を預かり留学生との交流に努力をせず、中にはビジネスとしか思えない対応があったことをあげていた。しかし、一概に長年ホストを続けているからといって、情性でどの留学生も同じ扱いをしているホストファミリーばかりではないことは調査をしていて明らかである。D は回答家族のうち 5%の家族が、回答留学生の 9%が何らかの不満を持っていたお互いに不満を持つ場合である。※はその中の一人が途中でホームステイを出たことをあらわしている。この他あまり有意義ではなかったと答えた家族が 4 家族、どちらかという問題の方が多かったが 2 家族あるが、その家庭の留学生の評価は出ていないので留学生の評価は分からない。次に鹿浦（2007）で使用したアンケートを修正し再度 2008 年春学期の学生とホストファミリーに回答してもらった結果と教務課から得た過去 6 学期の留学生の成績、性別、国籍、ハウジングの情報の結果をまとめる。

3. 留学生とホームステイ

3.1 ハウジングの傾向

最近のハウジングの傾向（表 1）

housing	05 秋学期 423 人	06 春学期 421 人	06 秋学期 428 人	07 春学期 396 人	07 秋学期 433 人	08 春学期 401 人	08 秋学期 431 人
ホーム ステイ	156 人 (36.9%)	119 人 (28.3%)	124 人 (29%)	87 人(22%)	132 人 (30.5%)	99 人 (24.7%)	120 人 (27.9%)
セミナー ハウス	238 人 (56.3%)	266 人 (63.2%)	276 人 (64.5%)	258 人 (65.2%)	278 人 (64.2%)	262 人 (65.5%)	285 人 (66.1%)
アパート	29 人 (6.9%)	36 人 (8.6%)	28 人 (6.5%)	51 人 (12.9%)	23 人 (5.3%)	40 人 (10%)	26 人 (6%)

留学生はそれぞれの特徴を理解してハウジングを選択できる。留学生のハウジングの長所短所を以下のように捉えていることがアンケートより分かった。

ホームステイの長所は、日本語が使える、食事（朝食と夕食）を作ってもらえる、日本の文化、習慣に触れられる、自分の部屋がもらえる、病気になっても心丈夫ということなどである。短所は、規則（門限を守ることやアルバイトが出来ない）があり、日本人家族に期待をかけすぎると交流がうまくいかず、逆に不満がつる。大学から遠い場合、通学時間が長く取られ、慣れない電車やバスに乗らなければならない。自国で経験したことのないラッシュアワーも体験しなければならなくなる。費用は食費も含まれており定額支払うため他のハウジングより割高に感じる。

寮の長所は、自由、食事制限や菜食主義の学生には自由に台所を使って自由に安く食事が作れる、大学に近い、世界中の国から来ている留学生と知り合いになれる、生活費を安くできる、週末の予定など自由に計画が立てられる、自国での寮の生活に慣れているため生活しやすい。欠点は、規則が多い（酒が飲めない、08秋学期に限ってのトライアルであるが、4番の寮でのみ飲酒が出来ることになった）来客者の訪問時間の制限、部屋をルームメイトと共有するため、ルームメイトとの関係が重要となる、食事が付いていないので自分で作らなければならない、共有場所（台所など）が住居人のマナーの悪さで汚くなる。住人が多いので騒音に悩まされることもある。また、留学生は皆英語が話せるため、共通言語が英語となってしまう。

アパートの長所は全て自由であるため、食事などを切り詰めると生活費が一番安価で暮らせる。全て采配自由であるが、責任も生じる。但し、安い家賃のアパートだと、エアコンがなく、暑さ寒さに耐えなければならないし、ゴキブリ、害虫に悩まされたりする場合もある。時には大家さんとの交渉や新聞の勧誘やガスのメーターの検針の人とのやりとりが必要になる場合もある。ルームメイトがいない場合、行動力がない消極的な学生は人と話す機会がなく、自由のみで孤独を感じる場合もある。せっかく日本に留学に来たのに、日本人にも会わず日本語も使う機会もなく日本の生活もよく分からず、ただアパートとクラスの往復に終始する生活はあまりに寂しすぎる。

何を目的とするかによりハウジングの選択が異なるが、日本語を上達させることを第一義におく学生は必ずホームステイを選択している。

3.2 留学生の成績とハウジングの関係

次に教務課の協力を得て、過去6学期の留学生の成績を出し、AからFまでの割合を出し、それとハウジング別の留学生の成績(A-D/F)を全体の成績と比べ、全体の割合より多い場合↑で、少ない場合↓で示す。それぞれの成績の人数、割合はここでは公表しない。参考までに外大での評価と点数の関係は次の通りである。

A: 93-100, A-: 90-92, B+: 87-89, B: 83-86, B-: 80-82,
C+: 77-79, C: 73-76, C-: 70-72,
D+: 67-69, D: 63-66, D-60-62, F: 0-59

過去6学期の学生の成績とハウジングの関係（表2）
05秋学期(423人)

ホームステイ(156人) アパート (29人) 寮(238人)

A	↑	↓	↓
B	↑	↑	↓
C	↑	↓	↑
D/F	↓	↓	↑

06 春学期(421人)

ホームステイ(119人) アパート (36人) 寮(266人)

A	↑	↓	↓
B	↓	↑	↓
C	↓	↑	↑
D/F	↓	↓	↑

06 秋学期(428人)

ホームステイ(124人) アパート (28人) 寮(276人)

A	↑	↓	↓
B	↑	↑	↓
C	↑	↑	↑
D/F	↓	↓	↑

07 春学期 (396人)

ホームステイ(87人) アパート (51人) 寮(258人)

A	↑	↓	↓
B	↑	↑	↓
C	↓	↓	↑
D/F	↓	↑	↑

07 秋学期(435人)

ホームステイ(132人) アパート (23人) 寮(280人)

A	↑	↓	↓
B	↑	↑	↓

C	↓	↑	↑
D/F	↓	↑	↑

08 春学期 (401 人)

ホームステイ (99 人) アパート (40 人) 寮 (262 人)

A	↑	↓	↓
B	↓	↑	↓
C	↓	↓	↑
D/F	↓	↓	↑

この結果から、ホームステイをした留学生在が成績 A を取る割合は過去 6 学期全てにおいて常に全体の割合より高く、成績 D/F を取る留学生的の割合は全体の割合より低いことがわかった。反対にアパートに住む留学生的の成績 A の割合は常に全体を大きく下回り、成績 B の割合は常に全体を上回っている。また寮に住む留学生的で成績 A または B を取る留学生的の割合は常に全体を下回っており、平均点以下の成績 CDF を取った留学生的の割合は常に全体を上回る。従って、ホームステイをした留学生的の成績は常に寮・アパートに住む留学生的のそれよりいいと言えることがわかった。

毎年の傾向として秋学期と春学期の滞在の場合、春学期の学生的の日本語レベルは秋学期より 1 レベル上に上がり日本語も難しくなるため、成績は同じか、もしくは下がる傾向がある。成績が上がったとしても、学生的の大半が B が B+へ B+が A-にといった 5 点の程度の上昇であるが、秋学期と春学期の両方ホームステイを行った学生的に限定すると、B から A に、また C から B へというように成績が約 10 点も上がった留学生的が多いのが特徴である。

3.3 日本語レベルとハウジング

次に過去 6 学期のハウジング別の留学生的の日本語のレベルを全体のレベルの割合と比べ、全体の割合より多い場合↑で、少ない場合↓で示す。差がない場合―で示す。

過去 6 学期の学生的の日本語レベルとハウジングの関係 (表 3)

05 秋学期 (423 人)

ホームステイ (156 人) アパート (29 人) 寮 (238 人)

1	↓	↓	↑
---	---	---	---

2	↓	↑	—
3	↑	↑	↓
4	↑	↑	↓
5	↓	↓	—
6	↓	↓	—

06 春学期 (421 人)

ホームステイ (119 人) アパート (36 人) 寮 (266 人)

1	↓	↓	↑
2	↑	↓	—
3	↑	↑	—
4	↑	↑	↓
5	↑	↓	—
6	↑	↑	—

06 秋学期 (428 人)

ホームステイ (124 人) アパート (28 人) 寮 (276 人)

1	↓	↓	↑
2	↑	↓	—
3	↑	↑	↓
4	↓	↑	—
5	↓	↑	—
6	↓	↓	—

07 春学期 (396 人)

ホームステイ (87 人) アパート (51 人) 寮 (258 人)

1	↓	↓	↑
2	↑	↓	↓
3	↑	↓	↑
4	↑	↑	—
5	↑	↑	↑

6 ↑ ↑ ↓

07 秋学期 (435 人)

ホームステイ (132 人) アパート (23 人) 寮 (280 人)

1	↓	↓	↑
2	↓	↑	—
3	↑	↓	↓
4	↑	↓	—
5	↑	↑	↓
6	↓	↑	—

08 春学期 (401 人)

ホームステイ (99 人) アパート (40 人) 寮 (262 人)

1	↓	↓	↑
2	↑	↓	—
3	↑	↓	—
4	↑	↑	↓
5	↓	↓	—
6	↑	↑	—

ホームステイをする留学生のレベル毎の割合を見るとレベル 1 は少なく、アパートに住む学生の中でもレベル 1 も少なく、上級のレベルが多い。寮の留学生の日本語レベルの割合は全体の割合とほぼ同じであるが、レベル 1 の留学生がホームステイ、アパートで少なかった分、寮に住むレベル 1 の留学生の割合は多くなっている。

ホストファミリーが英語を話さない場合、レベル 1 の学生とのコミュニケーションをとることは困難で、基本的な生活をする上での問題解決の話し合いも出来ない場合があるため、レベル 1 の学生が滞在するホストファミリーでは誰か多少の英語が話せることが望ましい。英語を話す誰かがホストファミリーにいる場合が多いが、中には誰も話さないホストファミリーもいるので、その場合はレベル 1 を避けたほうが安全かもしれない。アパートに住もうと考える留学生は、日本の習慣や日本人の考え方にも知識を持ち、住まい探しや家賃の交渉など日本語が出来る方がスムーズにいくた

め、上のレベルの学生が多いと考えられる。

3.4 新・旧留学生とハウジング

新入生と継続生がそれぞれのハウジングに住むのかを調べた。

過去6学期の新入生、継続生とのハウジングの関係 (表4)

05 秋学期 (423 人)			継続生 42 人	新入生 381 人		
ホームステイ (156 人)			アパート (29 人)			寮 (238 人)
継続生 9 人 (6%)			11 人 (38%)			22 人 (9%)
新入生 147 人 (95%)			18 人 (62%)			216 人 (91%)
38.6%			4.7%			56.7% (新入生の中での割合)
06 春学期 (421 人)			継続生 189 人	新入生 232 人		
ホームステイ (119 人)			アパート (36 人)			寮 (266 人)
継続生 43 人 (36%)			26 人 (72%)			120 人 (45%)
新入生 76 人 (64%)			10 人 (28%)			146 人 (55%)
32.8%			4.3%			62.9% (新入生の中での割合)
06 秋学期 (428 人)			継続生 41 人	新入生 387 人		
ホームステイ (124 人)			アパート (28 人)			寮 (276 人)
継続生 5 人 (1%)			13 人 (46%)			23 人 (8%)
新入生 119 人 (99%)			15 人 (54%)			253 人 (92%)
30.7%			3.9%			65.4% (新入生の中での割合)
07 春学期 (396 人)			継続生 183 人	新入生 213 人		
ホームステイ (87 人)			アパート (51 人)			寮 (258 人)
継続生 28 人 (32%)			37 人 (73%)			118 人 (46%)
新入生 59 人 (68%)			14 人 (27%)			140 人 (54%)
27.7%			6.6%			65.7% (新入生の中での割合)

07 秋学期 (435 人)	継続生 29 人	新入生 406 人
ホームステイ (132 人)	アパート (23 人)	寮 (280 人)
継続生 5 人 (4%)	5 人 (22%)	19 人 (7%)
新入生 127 人 (96%)	18 人 (78%)	261 人 (93%)
31.2%	4.4%	64.3% (新入生の中での割合)

08 春学期 (401 人)	継続生 170 人	新入生 223 人
ホームステイ (99 人)	アパート (40 人)	寮 (262 人)
継続生 34 人 (34%)	33 人 (83%)	110 人 (42%)
新入生 65 人 (65%)	7 人 (17%)	151 人 (58%)
29.1%	3.1%	67.7% (新入生の中での割合)

過去 6 学期においては多少の変化はあるが、目安として新しく入ってきた秋学期の学生の約 30%がホームステイをし、約 65%が寮に入り、5%がアパートに住んでいると言える。春学期にアパートに住む学生のうちの 7~8 割が継続生である。

3.5 ハウジングの男女比

次にそれぞれのハウジングにおける男女比を見る。

過去 6 学期の学生の性別とハウジングの関係 (表 5) F:女子学生、M:男子学生

05 秋学期 (423 人)		
ホームステイ (156 人)	アパート (29 人)	寮 (238 人)
F72 人 (46%)	8 人 (28%)	108 人 (45%)
M84 人 (54%)	21 人 (72%)	130 人 (55%)

06 春学期 (421 人)		
ホームステイ (119 人)	アパート (36 人)	寮 (266 人)
F 64 人 (54%)	11 人 (31%)	135 人 (51%)
M 55 人 (46%)	25 人 (69%)	131 人 (49%)

06 秋学期(428 人)

ホームステイ(124 人)	アパート (28 人)	寮(276 人)
F 73 人(59%)	9 人(32%)	139 人(50%)
M 51 人(41%)	19 人(68%)	137 人(50%)

07 春学期 (396 人)

ホームステイ(87 人)	アパート (51 人)	寮(258 人)
F 42 人(48%)	19 人(37%)	134 人(52%)
M 45 人(52%)	32 人(63%)	124 人(48%)

07 秋学期(435 人)

ホームステイ(132 人)	アパート (23 人)	寮(280 人)
F 62 人(47%)	10 人(43%)	127 人(45%)
M 70 人(53%)	13 人(57%)	153 人(55%)

08 春学期(401 人)

ホームステイ(99 人)	アパート(40 人)	寮(262 人)
F 61 人(63%)	16 人(40%)	123 人(47%)
M 37 人(37%)	24 人(60%)	139 人(53%)

ホームステイの男女比を見ると、毎回ではないがホームステイはほぼ女性の割合の方が多くなっており、アパートでは男性が多く、寮では男女比1対1である。

留学生全体の男女比は例年ほぼ同じであるため、寮の学生の男女比も毎学期ほぼ同率である。ホストファミリーが女子留学生の受け入れを希望する理由として、日本の住居が外国ほど広くないので日本人より体格の良い背の高い男子留学生と同居するのは快適ではないと考えるケースが多い。また家族構成で女性だけという場合や年頃の女の子がいる場合も男子留学生は敬遠される。その代わりに、ホストファミリーは女子留学生には門限の設定、送り迎えの有無など安全面に気を配る必要がある。安全面、または身体面の気遣いが不要であるという理由から男子留学生を希望する家族もいる。

3.6.2 学期滞在の場合のハウジング

07 秋学期から 08 春学期に継続をした学生は 178 人と秋学期の学生の約半数であり、ハウジングの内訳は次のようになる。

07 秋学期	→	08 春学期	
ホームステイ (58 人)	→	ホームステイ	(25 人)
		寮	(23 人)
		アパート	(10 人)
寮 (121 人)	→	ホームステイ	(8 人)
		寮	(97 人)
		アパート	(16 人)
アパート (8 人)	→	ホームステイ	(1 人)
		アパート	(7 人)
		寮	(0 人)

2 学期 (1 年) 外大に滞在する学生は、初めからホームステイをせずに 1 学期目の秋学期に寮に住み、日本の生活・文化に慣れてから、次の学期にホストファミリーと住もうとする学生もいる。初めの学期にホームステイに満足した場合、次の学期もホームステイする場合もあるが、本国の大学の規則で日本人家族に、または寮に住まなければならない場合もあり、一概には言えない。また、ホームステイは短期間の 1 学期のみ経験すればいいという学生は初めの学期にホームステイを行い、次の学期に寮に移る。但し逆の初めの学期に寮で生活し次の学期にホームステイをする留学生の割合は少ない。また 1 学期目のホームステイと相性が悪かった場合は 1 学期の途中からまたは 2 学期目に寮に移る。一番自由があるアパートから規則の多い寮に移る学生は少ない。

4. まとめ

ホームステイをした学生の成績が寮・アパートの学生の成績よりよいという結果は、ホームステイをした学生は寮・アパートの学生より日本語・文化・価値観を学ぶことができ満足している学生が多いこととも関連している。分からない単語、表現はすぐ家族に質問でき、文化・習慣も生活の中で身についていく。これは日本文化、社会を

教えたい、日本語学習の支援をしたいというホストファミリーの使命感のたまものであろう。日本語会話の時間も長く、ホストファミリーの話す動作などの語彙、関西弁、男性女性の表現などを聞くことにより、全てはわからないまでも、ある程度のリスニングの力がついたらと答えている学生が少なくないのも事実である。ホストファミリーの多くが出来るだけ多くの体験できる日本的な行事や風習（正月、節分、バレンタインデー、ひな祭り、花見、端午の節句、運動会、紅葉狩り、クリスマス、着物の着付け、寺社の参拝、挨拶、結納、法事、誕生日、華道、茶道など）を留学生に紹介していると答えている。日本語のクラスでは、これらをふまえて日本人の考え方・日本の文化のディスカッションにまでもっていくことも可能である。

学期中、中間試験やテストも数回あるが、家族との話の中に試験のことが出ると、当然家族も応援するだろうし、結果も話題に出るかもしれない学生は頑張ろうという意欲もわいてくる。その点、寮やアパートでは自由である故に本人の自己責任ですべて行われるため、失敗しても誰からもうるさく言われない。同じようにクラスへの遅刻の回数に関してもホームステイしている学生は寮の学生に比べて少ないことが特徴的である。寮やアパートでは何時まで寝ていても何も言われなくてすむからである。自由すぎてあまりに不規則な寮やアパートでの生活は学習態度にも学習効果にも悪影響を与えることになる。寮において運よく日本人のルームメイトに当たった学生はとても満足であったと答えているが、ルームメイトと良い関係がもてないと、更に学習環境が悪くなる。ホームステイの短所である理由、つまり時間の拘束や人間付き合いが自己を律し、相手を思いやることになり、ひいては欲望の抑制を余儀なくさせ、協調性を引き出し、学習効果が上がる結果になっている。電気や水の無駄遣いをもつたいたないと考えることが日本人の考えであることを理解した留学生は、ホストファミリーとよい関係が築け、より多くの支援も得られ、学習効果も得られている。

最近では日本で生活する留学生にとっても携帯電話は必需品となり、日本語学習支援の道具の一つともなっている。辞書機能以外に会話の練習、書き取り、読み取りの練習が出来る媒介道具の一つとして今や携帯電話は欠かせないものになっている。今回ホストファミリーに学生の携帯電話の有無を聞いた。その結果、携帯電話を持っている学生 70 名、もっていない学生 12 名ということであった。携帯電話を所持していた学生のいたホストファミリーのほとんどが急な連絡やコミュニケーションがとれてよかったと答えている。ホストファミリー 12 名のうち 9 名が留学生が携帯電話を所有せず不便であったと答えている。携帯電話使用では電話機能だけではなく、学生と

ホームステイ間でメール機能を使用した連絡も行われている。学生のメールはひらがな、ローマ字、英語、中には絵文字でも書かれている。ホストファミリーの回答の中には留学生の書くメールの印象について、接続詞がない、「てにをは」がない、ちんぷんかんぷんで分からないというものもあった。ホストファミリーが使用した文字は学生が知っていると思われる漢字とひらがな、英語、ローマ字を使用したと答えている。携帯電話によって更にホストファミリーと留学生のコミュニケーションが増している。留学生の使用する日本語に間違いはたくさんあるが、日本語を使用しようとして、必要な時それが抵抗なく自然に使うという行為が習慣化することは学習にも効果的な働きがあると思われる。

ホストファミリーの多くから留学生が家庭で挨拶をしない、「ただいま」と「お帰りがなさい」の使い方をまちがえている、挨拶が不適切で言葉のコミュニケーションにおいて気に障ることがあるという、挨拶・謝罪に関するコメントが寄せられた。確かに日本語の授業の終わりに「先生お疲れ様でした」と言って帰っていく学生がいるが、「先生、今日もご苦労様」よりはましかと思いつつ、挨拶の指導の難しさを感じる。コンビニの店員さんに「ありがとうございます」と言われるが、どう返事をしたらよいかと留学生によく質問される。「どうも」と会釈しながら言ったらどうかと教えている。ホームステイ（家庭での）挨拶は特殊である。朝の「おはようございます」は使用するが、「こんにちは」「こんばんは」は毎日顔を合わす人には使用しない。大学でクラスの後で留学生に出会い、「先生、こんにちは」と不意に言われてつい、「あ、こんにちは」と答えてしまい自分でも失笑することがある。夕方6時ごろ「おやすみなさい」というのも英語の干渉である。

挨拶のほかに適当でない表現として「卒業式に来て頂けませんか」というべきところを「卒業式に来たいですか」と言ったり、立て替えてあげた代金を留学生が払わなければならない時に「お金がほしいですか」と聞いたり、「おふろにはいるか」「夕飯いらん」「晩ごはん食べない」と言ったり、食事のメニューに対して「なん？」とぞんざいという時、理解は出来るけれどもカチッとくるというコメントがあった。日本語のクラスでも「宿題がほしいですか」とよく聞かれる。「みなさんの間違いの多い宿題はほしくありません。もし『宿題を見て頂けますか。お願いします。』と言ったら、見てあげます」と答えることにしている。許可を求める、謝罪する、依頼する表現を使用するのは生活する上で最低限の表現である。傘を黙って使われたと嘆かれたホストファミリーがいる。傘を示しながら「お母さん、いい？」と言うだけで問題は

なくなる。ただし、許可の表現は何でもいいというわけではない。夜遅くスカイプを「使ってもいい？」と聞かれるとむっとするが、「すみませんが、使わせて頂けませんか？」と言われるとまあ仕方がない、使わせてあげようかと思ってしまう。

挨拶表現は初級クラスのごく最初に短時間で紹介され、その後はあまり出てこない。今回ホームステイのコメントの大部分をしめていた挨拶・陳謝・許可を求める表現がないため、不快な思いをしたというホストファミリーのコメントがあるように、日本語のクラスでも言語生活の基本である挨拶表現をもう少し時間をかけて、適切に使用できるよう繰り返し練習させるべきである。また陳謝・許可を求める表現・依頼表現などをレベルにそって繰り返し練習し使いこなせるよう指導する必要もある。

ホームステイした留学生の成績が他のハウジングの留学生よりよいという結果は、過去 37 年間ホームステイを推し進めてきた関西外国語大学のホームステイプログラムが留学生に正しい学習支援を行ってきたということが実証されたと満足する。これからも留学生とホストファミリーの両方が満足するようホームステイプログラムの問題の改善に努め、更なる留学生の日本語学習効果の促進、学習支援に努めたい。

参考文献

Helaine K. Minkus (2006) ‘Research Note’Is a Residential Host Family Program

Worthwhile? A Case Study of Kansai Gaidai University” The Journal Of Intercultural Studies No.33 pp.37-51

鎌田修・山内博之編（1996）「ホームステイにおける日本語学習効果」『日本語教育・異文化間コミュニケーション―教室・ホームステイ・地域を結ぶもの―』（財）北海道国際交流センターpp.41-61

鹿浦佳子・武田千恵子（2000）「ホームステイの功罪とホームステイプログラムへの提言」『関西外国語大学留学生別科日本語教育論集』第 10 号 pp.33-50

鹿浦佳子（2007）「ホームステイにおける日本語学習の効用―ホームステイ、留学生、日本語教員の視点から―」『関西外国語大学留学生別科日本語教育論集』第 17 号 pp.61-112

(Shikaura@kansigaidai.ac.jp)

添付資料 1、2、3

留学生へのアンケートは（鎌田・山内編、1996）を参照している。

（資料1）留学生へのアンケート

Your name: _____ (Or SPJ level, nationality , sex)

Housing: A. homestay / B. Seminar House / C. own

Is this the first time to come to Japan? Yes / No (this is the _____ time)

What made you decide your housing?: _____

A *If you are with homestay family, answer the next.*

● This is the 1st / 2nd / 3rd / 4th / 5th / 6th time.

Could you describe your host family members by filling out the following chart?

	father	mother	childA	childB	childC	GrandF	GrandM
Age							
Job							
School							

C.F. Professional housewife: しゅふ

● If there is additional important information about the members of the host family, please describe it.

● Does any member of the host family use English in conversation with you?

Yes / No

● If 'yes', which member of the family is it? _____

● How often does s/he use English?

Always / Very frequently / Sometimes / Very rarely

● Who do you speak in Japanese with most frequently? _____

● Who do you speak in Japanese with least frequently? _____

● Is there regular contact with Japanese besides your host family members?

Yes / NO If 'yes', who are they? _____

● What are the most major topics of conversation when you talk with your host family members in Japanese? Give top three topics.

1 _____

2 _____

3 _____

●What are the major topics of conversation when you talk with a Japanese other than your host family members? Give top three topics.

1 _____

2 _____

3 _____

A. Do you think your proficiency level would increase without living with a host family?

B. Why do you think so?

●What aspects of Japanese language do you think you are learning most by homestayng? Give top three aspects.

1. _____

2. _____

3. _____

Please Go to question C.

B. If you are in Seminar House or in an apartment, answer the next.

●Do you try to speak Japanese? Always / Very frequently / Sometimes / Very rarely

●How long a day? (_____)

●Who do you speak in Japanese with most frequently? And Where?

●What are the most major topics of conversation in Japanese? Give top three topics.

1. _____

2. _____

3. _____

C. Do you think your proficiency level would increase without living with host family?

D. Why do you think so?

Please go to question C.

C.

●What aspects of Japanese do you think you should have learned prior to coming to Japan?

●Have you watched TV program? Yes / No

●Have you listened to radio program? Yes / No

If 'yes', which ones are your favorite program?

●TV programs

●Radio programs

●What do you learn from watching TV programs or listening to radio program?

●Have you read Japanese newspapers? Yes / No

●If 'yes', what did you read in newspaper? _____

●Do you have a mobile phone? Yes / No

●If 'yes', do you mail in Japanese? Yes / No

●If 'yes', to whom and about what do you mail ? _____

●If you mail in Japanese, do you use –masu form or casual form? Why?

●Is there any memorable moment for your Japanese learning outside classroom in Japan so far? Yes / No

●If 'yes', please describe it.

- **Could you discuss any factors other than in-class study contributing to your progress in learning Japanese in Japan?**
-

- **What were good things you experienced in Japan?**
- **What were bad things you experienced in Japan?**

(資料2) ホストファミリーへの質問

- ・留学生の名前 () これに満足ですか: はい・いいえ ()
- ・留学生の国籍 ()
- ・男/女(男/女でよかったですか: はい・いいえ その理由: ()
- ・ホームステイ歴: 今回が () 人目、通算 () 年ぐらい
- ・留学生受入の理由・動機目的 ()
- ・今回その動機・目的は達成できましたか。(はい・いいえ、
その理

由: ()

- ・家族構成: 家族の人数 ()
- ・お父様(世帯主様)のお仕事は ()
- ・お母さん(料理をなさる方)のお仕事は ()
- ・家族の中でどなたが主に話していますか ()
- ・英語が話せる人がいますか。どなたですか。()
- ・留学生と話すとき、どんな言葉で話していますか。()
 - 普通の標準語で話している
 - 普通の関西弁で話している
 - ゆっくり簡単な日本語で話す
 - その他
- ・留学生が関西弁を話すことはどう思いますか。
()
- ・留学生は携帯を持っていましたか。 はい・いいえ
- ・携帯は必需品ですか はい・いいえ 何故 ()
- ・携帯で留学生とメールをする時の日本語はどんな日本語ですか ()
- ・留学生が送ってくるメールの日本語はどんな日本語ですか。
()
- ・日本語で意思疎通が出来なくて、困ったことがありますか はい・いいえ
どんな事で?
()
その時どうしますか。
()
- ・留学生の使う日本語が不適當で失礼だと思ったことがありますか。
はい・いいえ
- ・気に障る不適當な・失礼な日本語
(例:「一緒に行ってくださいますか」というべきところを「一緒に行きたいですか」)
- ・不自然・変だと思ったこと (e. g. 挨拶をしない ()
- ・日本語のクラスで習ってきた文法などを使っているようですか はい・いいえ
え
どんな文法でしたか ()

- ・何か変なことや問題だと思われたことはありますか。あれば、お教え下さい
- ・ホームステイを行う上で留学生とスムーズにコミュニケーションを取るために日本語のクラスで特にどんなこと、どんな表現を教えてほしいと思われ
ますか。
()
- ・日本語の間違いや日本語の質問に答えて日本語能力の向上に貢献したいと思わ
れますか はい・いいえ
- ・質問されて答えに困ったことがありますか はい・いいえ
どんな質問です
()
- ・留学生と取り決めた規則がありますか はい・いいえ:どんな
()
- ・インターネットが使えましたか。はい いいえ
- ・インターネットで留学生との間で問題がありましたか はい・いいえ
どんな: ()
- ・生活文化・(食) 習慣の違い、考え方の違いで困ったことがありますか
いいえ
はい 例えばどんな事で困りましたか。()
- ・どんな日本の文化や生活行事を教えてあげたいですか()

Homestay Program Evaluation Spring 2008

1. Your overall comments on the homestay program. Please put your answer [into the box](#).
- A. very helpful to a better understanding of Japanese life.
 - B. helpful
 - C. helpful, but too many difficulties
 - D. not helpful

2. Your overall comments on your host family. Please put your answer [into the box](#).
- A. excellent
 - B. good
 - C. fair
 - D. poor

3. Any comments on the following items. Also, if you had difficulties in any of those areas, put number (1- 3) [into the boxes](#) according to the level of difficulty. (1= most difficult, 2= difficult, 3= a little difficult)

Meals:

Language (communication):

Life Style:

Schedule (e.g. Curfew):

Teaching English to the family:

Relationship:

Others:

- 4. List things you feel we should have explained more in the homestay orientation.
- 5. List some things you enjoyed the most in the homestay program.
- 6. Are there any things which are different from what you had expected?
- 7. Please write any comments.